

政策要望の提出について

議会では、平成30年度予算に向けた政策要望を、平成29年11月14日に市長へ提出しました。これは「市民の皆様との意見交換会」等でいただいた市民の声や、管内・管外視察を基に、総務・産業両常任委員会で検討を重ね、「誇りの持てる飛騨市づくり」を中心に3項目を、平成30年度予算に向けた政策要望としてまとめたものです。提出した内容については、以下のとおりです。

1. 空き家対策について

市では、飛騨市空き家等対策協議会を設置され、発生予防から有効利活用の取り組み、特定空き家の解消など、総合的に検討されているところですが、今後も空き家の増加が予想され、適切な管理が行われない空き家の増加が懸念される中、快適で安心して暮らせるまちづくりに取り組む必要があると考え、次の点を要望します。

- ①飛騨市空き家等対策計画の一層の推進。特に、予防、流動化・活用について、地域情報の収集・発信、相談窓口等を包括的に民間へ委託し、移住・定住支援を推進し、空き家情報サイトの趣旨を、空き家所有者や地域・住民の理解を得て、登録物件の充実を図ること。



2. 道の駅宇宙ドーム神岡の改修等計画について

宇宙物理学研究の展示等、市の観光振興の目玉として整備する道の駅宇宙ドーム神岡は、平成29年度に物販棟が増築され、平成31年3月には展示施設も完成し、多くの来場者で賑わうことが見込まれている。着々と整備が進む中で、駐車場整備をはじめ、みやげ物の充実や周辺施設との連携など、検討を要する事項もあるものと考え、次の点を要望します。

- ①現在、駐車場の収容台数は74台で、ピーク時には96台の駐車があるなど、既に許容を超えていることもあると聞き及んでいる。また、当該施設等の整備により滞在時間が長くなることが予想される。このことから臨時駐車場の確保を含め駐車場の拡充・整備をされること。
- ②東京大学との連携による新商品開発への期待は大きく、市内商工業者への積極的な開発支援。また、関連事業者との連携を深め関連商品の開発を進めること。
- ③市内の観光情報など発信するため、ITS スポットの設置やフリー Wi-Fi の整備を進めること。

3. 地元高校との連携事業(魅力ある地元高校づくり)について

魅力ある高校づくりに対しては、吉城高校、飛騨神岡高校と地域・団体が一体となって様々な試みがなされ、徐々にその効果が現れ始めていると感じています。

このこととともに、将来の人材育成の観点も含め、将来を担う高校生に地域への愛着や広くまちづくりに対する興味を醸成し、もって地元高校の存在と魅力が更に高まるよう、次の点を要望します。

- ①飛騨市高校生議会の開催に向け、魅力ある高校づくり事業の一環として検討されること。
- ②議会として高校生との意見交換会を別に開催したいと考えており、開催に向けた高校との協議などへの協力。
- ③台湾との交流を進める中で、両校の高校生の訪台について検討されること。

